

SDGs研究会(全5回)

～企業価値の向上のための持続的取り組み～

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

Sustainable
Development Goals
持続可能な開発目標

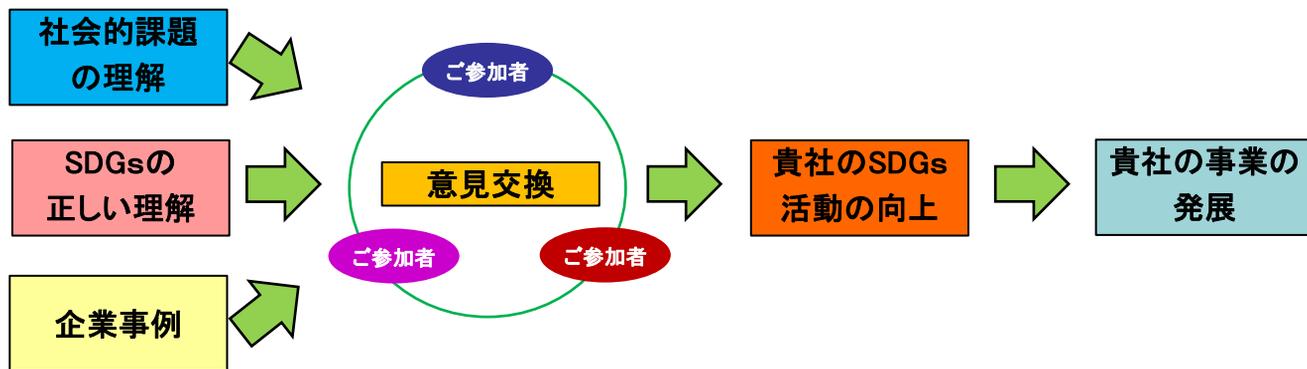


本研究会のねらい

本来、SDGsの活動は、自社の経営戦略にSDGsの目標を落とし込んでいく必要があります。しかし、自社の事業や活動をSDGs17目標のアイコンと紐づけることのみをSDGs活動であると表明したり、ボランティア的な活動をSDGsの活動と誤った認識をしている企業が多いのが現状です。

本研究会では、SDGsを正しく認識したうえで、社会的課題の解決、さらには自社の事業の発展に資することを目的として、他社の事例や今話題の『GX:グリーントランスフォーメーション』『ISO30414(人的資本の開示)』もテーマとして取り扱い、意見交換しながら自社のSDGsを実践的なものにしていきます。また、コロナ禍では制限されていたご参加者同士の情報交換の場にもなっていますので、この機会に是非ともご参加ください。

〈本研究会のイメージ〉



- ◆ 対象者: SDGsの理解を深めたい、自社の活動をSDGsに沿って向上させたい企業の経営層/責任者/担当者
- ◆ コーディネータ: 一般社団法人 中部産業連盟 主任コンサルタント 岩崎 雅之
- ◆ 日程: 2023年10月26日(木)、11月22日(水)、12月15日(金)、2024年1月23日(火)、2月16日(金)の全5回
- ◆ 時間: 13:30～16:30
- ◆ 研究会内容: 中面をご覧ください。

研究会内容

回	実施月		研究会テーマ 上段:講演/下段:研究会	概要
1	2023年 10月26日 (木)	前半	我が国産業界、そして企業が取り組むべき“社会課題”とは「SDGS:1～17の社会課題」	SDGsは解決が容易ではない“社会課題”として、17の目標169のターゲットで構成されています。 それらは自治体に取り組むべきもの、NPOのような団体が取り組むべきもの、そして企業が取り組むべきものがあると言えます。
		後半	【研究会(1)】	そこで、企業が自社の事業・製品・技術・サービス等により解決すべき課題は何か？を意見交換により整理します。
2	2023年 11月22日 (水)	前半	SDG Compassによる組織へのSDGs取り組みの導入～取組み課題の決定、KPIの設定、経営への統合	「SDG Compass」はSDGs導入方法のスタンダードとして多くの組織で活用され、導入されました。しかしながら、実際にはSDGsウォッシュの域を超えて取り組むのは容易ではありません。
		後半	【研究会(2)】	SDGsの取り組みを有効なものとするためには、活動内容/KPIの設定/経営への統合が必要です。 そこで、企業にとって経営に有効なSDGsの取り組みとは何か？について意見交換・考察します。
3	2023年 12月15日 (金)	前半	環境マネジメントシステムからのSDGsへのアプローチ	SDGsには、環境に関する目として12,13,14,15を中心にGoalが設定されています。産業界もISO14001環境マネジメントシステムを取得している企業は勿論のこと、昨今は環境意識の高まりを反映し、新たに認証取得を志す企業も増えてきております。
		後半	【研究会(3)】	そこで、環境マネジメントシステムからSDGsへの昇華、あるいは環境マネジメントシステムへのSDGsに関する取り組みの組入れなどについて、意見交換し考察します。

4	2024年 1月23日 (火)	前半	GX:グリーントランスフォーメーション カーボンニュートラル	<p>パリ協定1.5°Cの達成、そして日本政府コミットの2050年実質CO2排出量ゼロのカーボンニュートラルに向け、取り組みが盛んになっています。</p> <p>日本政府はGX:グリーントランスフォーメーションにより、産業及びエネルギー政策の大転換を表明しました。</p> <p>企業個社のカーボンニュートラルの取り組みは今後、まさに我が国のGXを実現するためのイノベーションでなければならず、どのように取り組んでいくべきか意見交換します。</p>
		後半	【研究会(4)】	
5	2024年 2月16日 (金)	前半	人的資本の開示「ISO30414」	<p>人材をコストではなく、“人への投資”と捉える「人的資本開示」が脚光を浴びています。米国では上場企業に対して開示ルールが整備されています。</p> <p>2018年には内部外部への人的資本報告のためのガイドライン規格である「ISO30414」が発行されました。</p> <p>当研究会では5回シリーズの締め括りとして、研究会参加各社における今後の企業価値向上のテーマとして意見交換します。</p>
		後半	【研究会(5)】	

会場のご案内

◆会場：中産連ビルもしくは名古屋駅周辺の会議室

〈中産連アクセス〉



〈市バス〉 名古屋駅 市バス バスターミナル

基幹バス2【10番のりば】「猪高車庫」行より、
「清水口」下車(約25分 210円)、徒歩約5分

〈地下鉄〉 名古屋市営地下鉄 名城線「名古屋城」駅 1番出口より、
出来町通り(基幹バス路線)沿いに東へ 徒歩約15分

〈名 鉄〉 名鉄瀬戸線「清水」駅もしくは「尼ヶ坂」駅より、徒歩約7分

会場には駐車場がございませんので、公共交通機関のご利用をおすすめいたします。

会場は諸事情のため変更になる可能性がございます。詳細は受講票にてお知らせいたします

ご参加要項

- 参加費: 会員(会員外)・・・66,000円/社(82,500円/社) ※消費税込み、2名/社まで
- 定員: 20名様 定員になり次第締め切りますのでなるべくお早めにお申し込みください。
※お申込が4名以下の場合、中止にさせて頂くこともございますのでご了承ください
- 申込方法: 1.申込書に必要事項をご記入のうえ、2週間前までにFAXにてお申込ください。
(インターネット・メールも可)
2.受講票・請求書は、開催日1～2週間前にお申込責任者宛に発送いたします。
3.参加費は開催日前日までに下記口座へお振込みください。
※無断欠席及び3営業日前以降のキャンセルおよび変更は参加費全額申し受けますので予めご了承ください。
※コンサルタントおよび教育機関の方のお申込はお断りしております。ご了承ください。
- 振込先:

振込先

三菱UFJ銀行 名古屋営業部(当座 No.420222)	十六銀行 名古屋営業部(当座 No.32632)
三菱UFJ銀行 大津町支店(当座 No.420690)	中京銀行 大津橋支店(当座 No.103574)
三菱UFJ銀行 名古屋中央支店(当座 No.1194624)	愛知銀行 本店(当座 No.4808)
三井住友銀行 名古屋支店(当座 No.1015177)	みずほ銀行 名古屋中央支店(当座 No.7347)
りそな銀行 名古屋支店(当座 No.493948)	みずほ銀行 翹町支店(当座 No.19589)
名古屋銀行 本店営業部(当座 No.4699)	八十二銀行 長野駅前支店(当座No.2015186)
大垣共立銀行 黒川支店(当座 No.16288)	

〈当座預金 口座名 一般社団法人 中部産業連盟〉

- 問合せ : 一般社団法人 中部産業連盟 ISO研修部<担当:勝股>
〒461-8580名古屋市東区白壁3-12-13/TEL 052-931-9824(直通)
URL: <http://www.chusanren.or.jp/> / e-mail: iso@chusanren.or.jp

「SDGs研究会」お申込み記入欄

貴社名	住所		〒	
申込み 責任者 連絡先	(FAX	
	所属部署 ・役職		ご氏名	
	E-mail			
参加者	所属部署・役職		ご氏名	

今回ご記入いただいた個人情報は、セミナー等の運営・情報提供(郵便、メール、FAX等)においてのみ使用致します。詳細は、HP(<http://www.chusanren.or.jp/privacy/index.html>)をご覧ください。同意の上、ご協力をお願い致します。本ご案内のFAX宛に関連情報の提供が不要の場合、下記にレ点をご記入下さい。
セミナー等の情報提供を希望しない

FAX 0120-342-740

ISO研修部